

【働く】施策の柱14

①予算事業名	浮魚礁漁場整備事業	予算科目	6-3-2-2	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	連携する産業振興		
②担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	H30~H31	基本計画の該当箇所	多面的な漁業の振興 施策の柱14-3		
③事業内容	回遊魚類の効果的な漁業操業を図るため、中層型浮魚礁を設置する。						
④実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(請負)						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)	
	財源内訳	(a)国庫	33,143,000	6,639,000	27,600,000	45,600,000	
		(b)県費	6,314,000	2,581,000	10,734,000	17,734,000	
		(c)地方債等	7,800,000	1,800,000	7,600,000	12,600,000	
		(d)一般財源	91,000	45,000	66,000	66,000	
	計(a~d)	47,348,000	11,065,000	46,000,000	76,000,000	0	
	特定財源名	(a)または(b)の名称	水産環境整備事業補助金		(c)の名称	過疎対策事業債	
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	中層型浮魚礁敷設 2基					
	平成31年度(予定)	中層型浮魚礁敷設 3基					
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	中層型浮魚礁整備率(全体17基)	目標	(/)	(83%)	(100%)	()	()
		実績	深浅測量				
		目標	(/)	()	()	()	()
実績							
事業成果効果等	中層型浮魚礁を複数設置したことにより、カツオ・マグロ類の回遊性魚類が蟄集し長期に滞留することから、効率的で安定した漁業生産活動が行えるようになった。また、回遊性魚類の漁獲量については、300トン前後で推移し安定した漁獲量となっている。						
⑧写真及び図面	平面図						